

この用紙は、証明責任者で厳封し依頼者へ渡してください。（厳封しない証明書は無効です。）

様式第7号の4【記入例】

実務に関する証明書

1 勤務者氏名及び生年月日

氏 名： ○ ○ ○ ○

生 年 月 日： 昭和○○年○○月○○日

2 保育士等として良好な成績で勤務した期間等

基礎資格取得後の勤務期間が対象です。

勤 務 期 間： 平成○○年○○月○○日 から 令和○○年○○月○○日 まで

休 職 等 期 間： 平成○○年○○月○○日 から 令和○○年○○月○○日 まで

年 月 日 から 年 月 日 まで

年 月 日 から 年 月 日 まで

※ 90日以上の病気休暇，病気休職，産前産後の休暇，育児休業及び介護休業等の期間について記入すること。
なお，これらの期間については，在職年数として認められません。

実労働時間： ○，○○○時間

「実労働時間」は上記「勤務期間」における実労働時間の合計時間数を記入してください。

※ 「未記入のもの」や「1日当たり8時間」等実労働時間の合計時間数の記入がないものは認められません。

3 施設の概要

施 設 名： 学校法人○○学園○○保育所

※ 認定こども園の場合は，構成するそれぞれ

勤務した施設ごとにそれぞれ1枚ずつの実務に関する証明書が必要です。

認可等年月日： 昭和○○年○○月○○日

※ 認可外保育施設の場合は，設立年月日を記入すること。

所 在 地： 仙台市○○区○○町○丁目○番○号

電 話 番 号： 022-○○○-○○○○

上記の者は，本施設において，上記のとおり実務経験を有する者であることを証明します。

令和○○年○○月○○日

施設名を記入してください。

施設名 学校法人○○学園○○保育所

証明者 学校法人○○学園 理事長 ○ ○ ○ ○

印

証明は必ず「設置者」が行ってください。
設置者以外の証明は認められません。

※ 園長は該当しません。

(注) 特例の対象として認められ
について，複数の施設における勤務期間等を合算する場合は，それぞれの施設ごとに実務に関する証明書が必要となります。

実務に関する証明書

1 勤務者氏名及び生年月日

氏 名：

生 年 月 日： 年 月 日

2 保育士等として良好な成績で勤務した期間等

勤 務 期 間： 年 月 日 から 年 月 日 まで

休 職 等 期 間： 年 月 日 から 年 月 日 まで

年 月 日 から 年 月 日 まで

年 月 日 から 年 月 日 まで

※ 90日以上の病気休暇，病気休職，産前産後の休暇，育児休業及び介護休業等の期間について記入すること。

なお，これらの期間については，在職年数として認められません。

実 労 働 時 間： 時間

3 施設の概要

施 設 名：

※ 認定こども園の場合は，構成するそれぞれの施設の名称について全て記入すること。

認 可 等 年 月 日： 年 月 日

※ 認可外保育施設の場合は，設立年月日を記入すること。

所 在 地：

電 話 番 号：

上記の者は，本施設において，上記のとおり実務経験を有する者であることを証明します。

令和 年 月 日

施設名

証明者

印

(注) 特例の対象として認められる勤務期間等（3年かつ4，320時間以上）について，複数の施設における勤務期間等を合算する場合は，それぞれの施設ごとに実務に関する証明書が必要となります。